

一般質問の概要

令和5年第2回 二宮町議会定例会

○6月8日（木）午前9時30分～

（前田憲一郎、岡田幸次郎、羽根かほる、古谷健司、大沼英樹 各議員）

○6月9日（金）午前9時30分～

（善波宣雄、野地洋正、小笠原陶子、渡辺訓任 各議員）

※両日とも2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田 憲一郎 議員	<p>二宮町体育施設の運営・管理規定等について （放映件名：二宮町体育施設の運営・管理規定等について）</p> <p>二宮町には、町民皆さまの心身両面にわたる健康増進、健康寿命の延伸を目指し、また、多世代間交流等町民同士が触れ合う場として、神奈川県内では他の町村には設置されていない温水プールをはじめ、山西プール、運動場、体育館、ラディアンテニスコート、緑が丘テニスコートが体育施設として、そのほか武道館が設置されている。</p> <p>しかし、残念なことに近年総体的に見て、町内在住の施設利用者数が年々減少している。体育施設における収支のマイナスは、総額1億623万9千円余りになっている。これらの体育施設は、町民にとってなくてはならない大切な施設であり、歳出を抑制し、再度、根本的な見直しをする必要がある。そこで、次の要旨についてご答弁いただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 体育施設における収支のマイナスが毎年多額に生じている現状をどのように捉え、歳出を抑制するための策を講じるのか。2. 各施設の使用料金、使用規定を設定した時期とその根拠についてうかがいたい。3. 2つのプールの監視をはじめとしたさまざまな業務委託に対し業務委託料を設計した積算根拠および、監視委託については単年度契約に切り替えたわけだがその理由もあわせて事細かな説明をうかがいたい。4. 本年4月25日の議会全員協議会において、温水プールは廃止も視野に入れて検討せざるを得ない状況であるとの発言があったが、今後の方向性についてうかがいたい。

地球温暖化対策の現状と2次計画の取り組み
(放映件名：地球温暖化対策の現状と2次計画の取り組み)

約10年前4年間ですが町の環境審議委員として環境改善に携わり環境に関心を持ち先日のエコフェスタにのみやでの基調講演の中でも気候変動の現状は待ったなしで深刻な状況であることを再認識しました。政府は温室効果ガス削減の取り組みを更に強化する方針を掲げました。町としてもこの実行計画を踏まえ、先般、第3次環境基本計画、第2次地球温暖化対策実行計画の2023年度からの新たな取り組みの展開に加え、気候非常事態宣言も発出しました。2030年度(2013年度比)までに排出ガスを50%削減する高い目標の達成に向けて行政と町民が一丸になってこの取り組みを実践で行くことが重要かと思えます。

今回は二宮町地球温暖化対策の取り組みについて質問をします。視点としては①やること、やったことをチェックしアクションしていくPDCAをスピーディに回し実効性をもって高いハードルを越えていくのか。②町民ひとり、ひとりが自分の行動に置き換え易いように啓発して行くのかをポイントに聞きたいと思えます。

2023年度からの第2次対策実行計画について重点に取り組んでいく内容を町民の方に解りやすく共有し、行政(職員)事業と地域(町民)事業が一体となって具体的な行動で高い目標の達成に向けて取り組んで行く必要があると考えます。

以下についてお伺いします。

- ① 過去5年間の町全体の温室効果ガス(CO₂)の排出量とその内訳は。
- ② 前期二宮町地球温暖化対策実行計画(～2022年度)の取り組み期間におけるCO₂排出量削減量の結果と目標達成度含めた評価について。
- ③ 二宮町地球温暖化対策実行計画には行政の事務事業編しかないが町民行動につながる地域事業編の策定若しくは取り組みの考えや方向性は。
(協働の部分はどのように行くのか)

2

岡田 幸次郎
議員

3	羽根 かほる 議員	<p>気候変動による災害への対応について (放映件名：気候変動による災害への対応について)</p> <p>令和5年5月14日「二宮町気候非常事態宣言」を宣言した。地球温暖化に伴う、雨量の増加など、自然環境の変化により、発災時にはこれまでより、より甚大な被害があると想定し、備えをする必要があると考える。気候変動をどのように捉え、対応をしていくのか。</p> <p>また、発災時から、日常の生活に戻るために、どのような策を講じていくのか。改めて、町の計画や対応策を確認し、災害リスクの軽減に向け、以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「二宮町気候非常事態宣言」について <ol style="list-style-type: none"> ① 「二宮町気候非常事態宣言」を発出した理由は。 ② 今後の取り組み内容と、進め方は。 2. 災害への備えについて <ol style="list-style-type: none"> ① よりリアルな防災訓練の計画は。 ② 災害時におけるライフラインの確保は。 ③ 災害時における町内外からの支援体制は。
---	--------------	---

学校現場における諸課題について
(放映件名：学校現場における諸課題について)

1 ディスレクシア（発達性読み書き障害）の対応について

発達障害とは、生まれつきの脳機能の発達の偏りによる障害です。

得意・不得意の特性と、その人が過ごす環境や周囲の人との関わりのミスマッチから、社会生活に困難が発生します。発達障害は外見からは分かりにくく、その症状や困りごとは人によってまちまちです。そのため、発達障害の特性を「自分勝手」「わがまま」「困った子」などと捉えられ、「怠けている」「親の育て方が悪い」などと批判されることも少なくありません。しかし、特性ゆえの困難さは、環境を調整し、特性に合った学びの機会を用意することで、軽減されると言われています。児童生徒と周囲の人がその子の個性・能力・希望など理解した上で、その子に合ったサポートをしていくことが大切です。そこで、今回はディスレクシアについて質問いたします。

ディスレクシアは、日本の人口の、0.7%～2%ともそれ以上とも言われています。発達障害には、大きく分けて自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠如・多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)の3つがありますがその中の学習障害、LDの1つで、読み書きの練習が難しく習得困難、漢字やカナ文字を思い出せないため文字が書けない、同じ字をよく間違える。文字の形を思い出すために時間がかかるので、文章を書くのに時間がかかるといった特徴があります。会話では発見できないことが多いので、単に怠けているなどと思われ、普通学級の中にも発見するのが難しくなっています。そこで質問いたします。

- (1) 普通学級内の児童・生徒の中にいるかもしれないディスレクシアの方を早期に発見するために、どのようなことをしていますか。
- (2) 普通学級内にディスレクシアの児童・生徒がいた場合、普通の授業でどのようなサポートをしていますか。
- (3) 普通学級内にディスレクシアの児童・生徒がいた場合、期末試験などの試験の時どのような配慮をしていますか。
- (4) 普通学級内にディスレクシアの児童・生徒がいた場合、他の児童・生徒あるいは保護者から特別扱いをしているように見られ、いじめ等を受ける危険もあると思うが、どのように対処していく考えですか。

2 二宮町における教職員の現状について

5月の朝日新聞で新学期、全国の学校で教員不足1,500人と出ていました。

また、大学教授のグループが、新年度を迎えた4月時点で、公立小中学校の

4

古谷 健司
議員

2割ほどで教員不足が生じているという報告結果を発表しました。そのような状況下で、二宮町の小中学校ではどのようなことが起きているのか質問いたします。

(1) 二宮町の小中学校の教員の人数は足りていますか。

(2) 児童生徒の転入により学級数が増えるなどして必要な教員数が増えたり、産休育休あるいは病欠で代わりの教員が必要になったりした際、代役の教員を補充できていますか。

(3) 今後、足りなくなった時には適宜補充できる見込みはありますか。

3 ジェンダーギャップの是正は世界各地において重要な課題です。男女平等そして人権の観点から推奨されてきた学校での男女混合名簿を近年使用する学校が増えています。二宮町では男女混合名簿を導入していますか。

4 体育の授業、水泳の授業、そして学校健康診断等において男女の児童・生徒は色々な環境で着替えています。体操服や水着に着替える更衣場所について、小学校1年生から別々に着替えられているのでしょうか。また、学校ごとに違えば学校別に、また学年別に教えてください。

5 学校健康診断等における上半身衣類の着用について

昨年2022年に、岡山市で男性医師が学校健康診断時にペン型カメラで盗撮をするという事件が起きました。この事件を受けて二宮町の小中学校では内科健診など、身体検査でどのような対応をしていますか。上半身に下着か体操着の着用をして行っていますか。

6 二宮町の小中学校において保護者への連絡簿やお知らせについては、子どもから保護者に渡し忘れや連絡漏れのないように、マチコミメールやロイロノート等タブレットを利用しているのですか。

また朝の健康観察や欠席連絡などは保護者からの電話連絡だけでなく、マチコミメールやロイロノート等を活用して保護者や先生の負担軽減を行っていますか。

避難場所にペットフードと被災動物保護用ケージの備蓄を (放映件名：避難場所にペットフードとケージの備蓄を)

二宮町は、想定されている大地震に備え、更なる防災力強化を図ることを目的に、重機や発電機、照明機材、暖房機材、冷房機器、テント、シャワーユニッ

ト、仮設トイレ等のレンタル資機材の提供に関する協定を株式会社アクティオと5月23日に締結しました。

これにより、災害時の応急復旧活動や避難生活等で被災者の早期安定を目指すとのことです。大地震に備えできることを行っていく、たいへん評価されるべきことです。

1 地震などにより大規模な災害が発生した際に神奈川県が仮設動物救護センターを設置するまでの間、一般家庭で飼っている犬や猫などを救護するため平成24年3月22日に神奈川県獣医師会中央支部と「災害時の動物救護活動に関する協定」を二宮町は締結しました。これもまた、たいへん評価されるべきことだと思います。この協定について質問いたします。

(1) この内容はどのようなものだったか。

(2) 必要な資機材・飼料・物資等の確保とは具体的にはどのような内容か。

2 東日本大震災では4,000頭の愛犬が餓死したという衝撃なデータがありました。

そのようなことがあってはならないと思います、昨年の12月定例会でも質問いたしました。再度下記の質問をいたします。

(1) 災害時のペットフードを確保するために、大型店舗、またはドラッグストア等との災害時の物資供給、こういった協定を結べそうですか。

(2) 防災倉庫、各地域の町内会館での備蓄倉庫にペットフードの備蓄あるいは、自分たちの持込みのペットフードを備蓄することに、少しは進展しましたか。

3 山梨県昭和町が山梨県獣医師会と締結した「災害時における動物救護活動に関する協定」では、昭和町は被災動物保護用ケージとシーツの備蓄をうたっているが、二宮町でも必要最低限の被災動物保護用ケージとシーツの備蓄を行えないか。

4 環境省の出している「自治体等が行う人とペットの災害対策」を見ると長期化した時、必要な物資の備蓄として、ケージやペットフードが挙げられていますが長期化をそうていして、多少の備蓄を行いませんか。また動物愛護ボランティアの導入も必要だと思われそうですが、ボランティアの募集等を行わないのですか。

5	大沼 英樹 議員	<p>地区役員の活動と成り手について問う (放映件名：成り手不足の地区役員へ町の対応はいかがか)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地区長・町内会長の役割と仕事量、報酬について 役員を避ける要因は仕事量の多さ、報酬の少なさ、やりがいの無さが指摘されているこの状況に対して町の認識と今後の方針を聞く。 2. 民生委員・児童委員の役割と仕事量、地区内の状況について 複数地域で欠員が発生している民生委員・児童委員についての現状の認識と今後の改善方法はどの様かを聞く。 3. 健康づくり普及委員の役割と仕事量、会議回数等について 仕事内容と役割について現在の活動がどの程度効果をもたらしているのか、また会議回数など効率的な計画と実施になっているのか町の考えを聞く。 4. 地区要望、町民からの声に対する対応について 溜まっていると聞く地区要望はどの程度あるのか、その処理状況はいかがか、地区の要望に対する町の考え方はいかがか。
---	-------------	--

**駅周辺施設（公衆トイレ）維持管理と将来構想について問う
（放映件名：駅周辺公衆トイレの維持管理について問う）**

二宮町をより住みやすく、より多くの人にも選ばれる町とするため、町の顔である駅周辺の環境は常に時代に即した改善、改修が必要です。

そこで、設置後数十年経過した南北駅前公衆トイレについて当初は、設置されているだけでもよかったのですが時代とともにトイレも進化し、バリアフリー化、多機能型と進化しております。特にこれからは多くの観光客が増加すると思われることから下記要旨について伺います。

要旨

- ① 設置時の経緯について説明を求む
- ② 設置して数十年が経過した、公衆トイレの老朽化についての認識と今後の施策について
- ③ 今後一歩踏み込んだ改善計画について

6

**善波 宣雄
議員**

今後のプール事業、施策について
(放映件名：どうなる温水、どうする袖が浦)

令和5年3月改定した「公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」では、温水プールを「廃止の方向で検討する」としたが、本年2月17日の天井崩落事故以降休館が続いている。いつ廃止するのか。

袖が浦プールは、平成28年に休止して以来、丸7年何も進展しておらず予算もつけていない。今年も何も検討せず放置したままか。

山西プールは、町内唯一のプールとして、お金をかけ大規模改修する方向性を見出したとのこと、決定した「3つのプールのあり方」とはどのようなものなのか。

要旨1 各プールの現状と今後の方向性について

- ① 温水プール ② 袖が浦プール ③ 山西プール

要旨2 町営プール事業の考え方、施策について

7

野地 洋正
議員

公園統廃合計画の見直しについて
(放映件名：公園統廃合計画の見直しについて)

令和5年度予算に、二宮町公園統廃合計画に基づく利用実態を踏まえた計画的な遊具の更新及び撤去により特色ある公園づくりを進めるほか、今後の計画的な維持管理方針を明確化する二宮町公園施設長寿命化計画を改定することになっている。

1. 特色ある児童遊園地について
2. 現在の広域連携と今後のあり方について
3. 公園愛護会をさらにグレードアップする件について
4. 若い世代の意見や力を借りる仕組みづくり

8

小笠原 陶子
議員

町の「防災面での」危機管理について
(放映件名：防災面での危機管理について)

最近、各地での地震発生の頻度が高い印象がある。南海トラフや西相模を震源とする地震について心配が高まっている。さらに、富士山の噴火についても可能性を否定することができないため、心配の声が出されている。

一方、この春の気候が高温で推移したため、熱中症発生の頻度が高くなり、救急出動の増加に対応が追いつくのか心配の声も聞かれる。

これらの状況について、町として持っている見込みと対応の考え方・計画について、以下のとおり問う。

1. 町の業務継続計画は、業務の代替施設として生涯学習センターを定め、大半の業務が生涯学習センターで行なわれると受け止めている。一方で、生涯学習センターの大規模改修中に震災が発生した場合には、どこで執務を開催するのか。同様に、消防署についても、大規模改修中の、災害対策本部の設置はどうするのか。

改修計画が固まっていない現段階で、詳細には決まらないと考えるが、町の考え方はどのようなものか。

2. 富士山噴火の際の避難計画がこの3月に改定された。ハザードマップでは、町では降灰に対する対応が必要とされるが、町として降灰による被害をどのように想定しているか。また、住民がとるべき行動はどういったものか。
3. 気象庁の予想ではこの7月・8月について平年より気温が高く推移する確率を4割としており、熱中症の発症の増加が心配される。町および他地域の救急出動の状況はどうか。熱中症の増加を含めて、今シーズンの救急出動件数と対応についてどのように想定しているか。

国民健康保険証をなくさないで
(放映件名：国民健康保険証をなくさないで)

国は、マイナンバーカードに健康保険証の機能を持たせることをすすめている。一方で7,000件のデータひも付けの間違ひが見つかるなど、一部で混乱も起こっている。マイナンバーカードの普及が進んだとは言え、マイナンバーカード自体を使いたくないとの声もある。健康保険証を無くすという動きに関連し、町の健康保険証に対する考えについて、以下のとおり伺います。

1. マイナンバーカードを取得していない場合、今後「国民健康保険証」はどうなるのか。
2. これまで発行されていた「資格証」「短期証」については、どのように扱うのか。
3. 介護現場では、健康保険証を通院や投薬にあたって、ヘルパーや介護者が預かることがあると聞くが、マイナンバーカードを預かることもあるのか。
4. 自治体として、国民健康保険証を発行することはできないのか。